

各中学校地区に関する審議のまとめ

1. 資料の見方

- ①資料は、審議終了日（ひとまずの方向性を出した日）の順に並んでいます。
- ②これまでの審議のまとめをページ上の方に詰め、ページ下の方に「おさらいのポイント」をまとめています。
- ③おさらいのポイントは、地域意見交換会などで出された意見や、論点の整理などであげた内容について、提言をまとめるにあたって改めて触れておいた方がよいと思われる部分をポイントとしてあげています。
- ④おさらいのポイントには、分りやすいように例を挙げているところもありますが、事務局が望む提言の案を示しているものではありません。
- ⑤おさらいのポイント以外でも議論が必要と思われる点については、再度審議していただいてよろしいです。

2. 全体的な留意点

- ①短期・中期・長期といった区分の考え方や年数の目安をもう一度整理する必要があります。
- ②適正配置の方向性は、短期・中期・長期などの時間軸でも考えることとしております。したがって「現時点では現状維持」という表現は改める必要があります。
- ③これまでのまとめ方では、「1. 方向性」には短期の方向性だけが書かれ、中・長期の方向性は「2. 指摘事項」や「3. その他指摘事項」に含まれている例が多くあります。これを方向性として時間軸に基づいて整理する必要があります。
- ④「将来的には」という部分が、一つの考え方なのか、提言なのかをもう一度整理する必要があります。

1. 下長中学校地区に関する審議のまとめ【おさらい】
(下長中、下長小、城北小、高館小)

1. これまでのまとめ

【審議終了日】	平成 21 年 7 月 14 日 (火) [第 3 回検討委員会]
【1. 適正配置の方向性】	・下長中学校地区については、現状維持とする。
【2. 上記 1 に係る指摘事項】	
【3. その他指摘事項】	・下長中学校地区及び隣接する北稜中学校地区では学区外通学が多いが、個々の事情を考慮して、できる限り柔軟に対応すべきである。
【4. 現時点での提言区分】(複数選択可)	◇下長中学校【 ① 】 [] ◇下長小学校【 ① 】 [] ◇城北小学校【 ① 】 [] ◇高館小学校【 ① 】 [] ①変更なし ②学区外基準変更 ③通学区変更 ④移転・新築 ⑤学校統合 ⑥その他

2. おさらいのポイント

<p><input type="checkbox"/>城北小学区と根岸小学区に分かれている洲先町内(根岸連町)については、現状のままでよいか。</p> <p><input type="checkbox"/>下長小学区の下長町は、距離的に城北小学校に近いところがあり、留守家庭を理由に町内児童の3割程度は城北小学校へ学区外通学している一方、留守家庭に該当しない家庭では学区外通学が認められない。このことについては現状のままでよいか。</p> <p><input type="checkbox"/>高館小学校は平成 27 年度には全学年 1 学級となり、約 1km の距離にある日計ヶ丘小学校も全学年 1 学級の小規模校である。また、日計ヶ丘小学校は小規模にもかかわらず児童の異動(転校)が多く、入学から卒業まで過ごす児童はごく少数である。学びの環境を考えると根岸小学校も含めて学区の変更等は検討しなくてもよいか。</p> <p><input type="checkbox"/>下長地区の人口増加に対応して学校が増えており、学区の線引きに強引な面が残っている。また、隣接する学校との規模の差が大きい。この地区に限定した学校選択制や学区外通学許可基準は考えられないか。</p> <p><input type="checkbox"/>小中の部活動の連続性について触れる必要はないか。</p>

2. 北稜中学校地区に関する審議のまとめ【おさらい】 (北稜中、根岸小、日計ヶ丘小)

1. これまでのまとめ

【審議終了日】	平成 21 年 7 月 14 日 (火) [第 3 回検討委員会]
【1. 適正配置の方向性】	・北稜中学校地区については、現状維持とする。
【2. 上記 1 に係る指摘事項】	
【3. その他指摘事項】	・北稜中学校地区及び隣接する下長中学校地区では学区外通学が多いが、個々の事情を考慮して、できる限り柔軟に対応すべきである。
【4. 現時点での提言区分】(複数選択可)	
◇北稜中学校【 ① 】 []
◇根岸小学校【 ① 】 []
◇日計ヶ丘小学校【 ① 】 []
①変更なし ②学区外基準変更 ③通学区変更 ④移転・新築 ⑤学校統合 ⑥その他	

2. おさらいのポイント

城北小学区と根岸小学区に分かれている洲先町内(根岸連町)については、現状のままでよいか。

高館小学校は平成 27 年度には全学年 1 学級となり、約 1km の距離にある日計ヶ丘小学校も全学年 1 学級の小規模校である。また、日計ヶ丘小学校は小規模にもかかわらず児童の異動(転校)が多く、入学から卒業まで過ごす児童はごく少数である。学びの環境を考えると根岸小学校も含めて学区の変更等は検討しなくてもよいか。

小中の部活動の連続性について触れる必要はないか。

4. 島守中学校地区に関する審議のまとめ【おさらい】 (島守中、島守小)

1. これまでのまとめ

【審議終了日】	平成 21 年 10 月 5 日 (月) [第 5 回検討委員会]
【1. 適正配置の方向性】	・ 島守中学校地区については、現状維持とする。
【2. 上記 1 に係る指摘事項】	
【3. その他指摘事項】	・ 地域密着型教育の特色を生かしながら、小中一貫教育も視野に入れ、将来的に複式が解消できるような取組みを行う。
【4. 現時点での提言区分】(複数選択可)	
◇島守中学校【 ① 】[]
◇島守小学校【 ① 】[]
①変更なし ②学区外基準変更 ③通学区域変更 ④移転・新築 ⑤学校統合 ⑥その他	

2. おさらいのポイント

<p><input type="checkbox"/> 島守小学校は平成 27 年度から複式学級が導入される見込みである。「将来的に複式が解消できるような取組み」についてとは何を指しているか。</p> <p><input type="checkbox"/> ここでいう「将来的に」とはいつごろを指しているか。期限を明記するか。</p> <p><input type="checkbox"/> 小中一貫教育を児童数増加の手法のように記述してよいか。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域密着型教育は、近い将来全市的に実施する予定である。この地区だけ、提言の中に「地域密着型教育」を入れることに問題はないか。</p>
--

3. その他ポイント

<p><input type="checkbox"/> 小中一貫教育導入については、まずは全市的な考え方を整理すべきではないか。</p>
--

8. 大館中学校地区に関する審議のまとめ【おさらい】
(大館中、新井田小、松館小)

1. これまでのまとめ

【審議終了日】 平成 22 年 1 月 21 日 (木) [第 8 回検討委員会]
【1. 適正配置の方向性】 ・大館中学校地区内及び新井田小学校地区内の塩入町内は通学区域を変更し、湊中学校及び 青潮小学校の通学区域とする。 ⇒ ※時期区分【 】 ・松館小学校は、新井田小学校へ統合する。 ⇒ ※時期区分【 】
【2. 上記 1 に係る指摘事項】
【3. その他指摘事項】
【4. 現時点での提言区分】(複数選択可) ◇大 館中学校【 ③ 】[塩入町内を湊中学校区へ変更する。] ◇新井田小学校【 ③ 】[塩入町内を青潮小学校区へ変更する。] ◇松 館小学校【 ⑤ 】[新井田小学校へ統合する。] ①変更なし ②学区外基準変更 ③通学区域変更 ④移転・新築 ⑤学校統合 ⑥その他

2. おさらいのポイント

<p><input type="checkbox"/> 松館小学校を統合しなければならない理由はなにか。(例：集団教育活動が出来ない 等)</p> <p><input type="checkbox"/> 新井田小学区について、距離的理由により多くの児童が旭ヶ丘小学校に学区外通学している現状はこのままでよいか。また、その理由は。</p>
--

10. 鮫中学校地区に関する審議のまとめ【おさらい】
(鮫中、鮫小、種差小)

1. これまでのまとめ

【審議終了日】 平成 21 年 12 月 21 日 (月) [第 7 回検討委員会]
【1. 適正配置の方向性】 ・ 鮫中学校、鮫小学校、種差小学校については現状維持とする。
【2. 上記 1 に係る指摘事項】
【3. その他指摘事項】
【4. 現時点での提言区分】(複数選択可) ◇ 鮫 中学校【 ① 】 [] ◇ 鮫 小学校【 ① 】 [] ◇ 種 差小学校【 ① 】 [] ①変更なし ②学区外基準変更 ③通学区域変更 ④移転・新築 ⑤学校統合 ⑥その他

2. おさらいのポイント

<p>□種差小学校で白浜町内だけが鮫中学校に分かれて進学することについては、このままでよいか。また、その理由は。</p>
--

12. 白銀南中学校地区に関する審議のまとめ【おさらい】 (白銀南中、白鷗小、白銀南小)

1. これまでのまとめ

【審議終了日】	平成 22 年 2 月 22 日 (月) [第 9 回検討委員会]
【1. 適正配置の方向性】	・白銀南中学校、白鷗小学校、白銀南小学校は、現時点では現状維持とする。
【2. 上記 1 に係る指摘事項】	・一つの中学校区に複数の小学校が存在し、それぞれの児童数が減少している場合には、将来的に小学校を減らすことを検討すべきである。
【3. その他指摘事項】	・将来、小学校を減らすことを検討する際、距離的に遠い町内についても、学区の見直しを再度検討すべきである。
【4. 現時点での提言区分】(複数選択可)	◇白銀南中学校【 ① 】 [] ◇白 鷗小学校【 ① 】 [] ◇白銀南小学校【 ① 】 [] ①変更なし ②学区外基準変更 ③通学区域変更 ④移転・新築 ⑤学校統合 ⑥その他

2. おさらいのポイント

<p><input type="checkbox"/> 「現時点では現状維持」について、短期・中期・長期で考えた場合にどれに該当するか。将来的にはどうあるべきかを盛り込む必要はないか。</p> <p><input type="checkbox"/> 岬台地区は小学校が白鷗小学校、中学校は白銀南中学校となっているが、このことは現状のままでよいか。</p> <p><input type="checkbox"/> その他指摘事項で、「将来、小学校を減らす・・・再度検討すべきである。」とあるが、具体的な例示があると理解しやすいのではないか。</p> <p>⇒ 例) 将来、白銀小学校と白鷗小学校を統合する際は、中学校との接続を考慮し、岬台地区は白銀南小学区とする。また、大沢片平、第三三島町内の学区も再度検討(学区変更・学区外通学許可基準【距離的理由】)すべきである。</p>

13. 小中野中学校地区に関する審議のまとめ【おさらい】
(小中野中、小中野小)

1. これまでのまとめ

【審議終了日】	平成 22 年 4 月 26 日 (月) [第 11 回検討委員会]
【1. 適正配置の方向性】	・小中野中学校、小中野小学校は、現時点では現状維持とする。
【2. 上記 1 に係る指摘事項】	・今後、児童生徒数の減少等による教育環境の変化などを踏まえて、江陽との学区統合を検討すべきである。
【3. その他指摘事項】	・小中野学区と江陽学区の統合を検討する時には、通学の安全性も考慮し、北青葉・諏訪二丁目・諏訪東・諏訪一丁目を柏崎小学校の学区に変更することも検討すべきである。
【4. 現時点での提言区分】(複数選択可)	
◇小中野中学校【 ① 】 []
◇小中野小学校【 ① 】 []
①変更なし ②学区外基準変更 ③通学区域変更 ④移転・新築 ⑤学校統合 ⑥その他	

2. おさらいのポイント

<p><input type="checkbox"/> 「現時点では現状維持」について、短期・中期・長期で考えた場合にどれに該当するか、将来的にはどうあるべきかを盛り込む必要はないか。</p> <p>⇒ 例) 将来的には、小中野学区と江陽学区を統合する。</p> <p>①小中野中学校と江陽中学校の統合</p> <p>②小中野小学校と江陽小学校の統合 など</p>
--

14. 江陽中学校地区に関する審議のまとめ【おさらい】
(江陽中、江陽小)

1. これまでのまとめ

【審議終了日】 平成 22 年 4 月 26 日 (月) [第 11 回検討委員会]
【1. 適正配置の方向性】 ・江陽中学校、江陽小学校は、現時点では現状維持とする。
【2. 上記 1 に係る指摘事項】 ・今後、児童生徒数の減少等による教育環境の変化などを踏まえて、小中野との学区統合を検討すべきである。
【3. その他指摘事項】
【4. 現時点での提言区分】(複数選択可) ◇江陽中学校【 ① 】 [] ◇江陽小学校【 ① 】 [] ①変更なし ②学区外基準変更 ③通学区域変更 ④移転・新築 ⑤学校統合 ⑥その他

2. おさらいのポイント

<p><input type="checkbox"/> 「現時点では現状維持」について、短期・中期・長期で考えた場合にどれに該当するか。将来的にはどうあるべきかを盛り込む必要はないか。 ⇒ 例) 将来的には、小中野学区と江陽学区を統合する。 ①小中野中学校と江陽中学校の統合 ②小中野小学校と江陽小学校の統合 など</p> <p><input type="checkbox"/> 「小中野との学区統合」とあるが、小学校と中学校は分けて考える必要はないか。(方向性に時間的な差はないか)</p>
--

15. 第三中学校地区に関する審議のまとめ【おさらい】
(第三中、柏崎小)

1. これまでのまとめ

【審議終了日】	平成 22 年 5 月 17 日 (月) [第 12 回検討委員会]
【1. 適正配置の方向性】	・一部が柏崎小・第三中学区となっている南類家一丁目は、全てを第一中学区、吹上小学区とし、その他は現状維持とする。 ⇒ ※時期区分【 】
【2. 上記 1 に係る指摘事項】	・将来的には、隣接する小中野中学校地区、江陽中学校地区も含めて学区の検討も必要である。
【3. その他指摘事項】	
【4. 現時点での提言区分】(複数選択可)	◇第三中学校【 ③ 】[南類家一丁目は全て第一中学区とする。] ◇柏崎小学校【 ③ 】[南類家一丁目は全て吹上小学区とする。] ①変更なし ②学区外基準変更 ③通学区域変更 ④移転・新築 ⑤学校統合 ⑥その他

2. おさらいのポイント

<p>□小中野と江陽が学区統合した際の諏訪地区 4 町内について、もう少し踏み込んだ提言に しなくてもよいか。 ⇒ 例) 小中野と江陽を学区統合した際は、小中野小学区である北青葉・諏訪二丁目・ 諏訪東・諏訪一丁目を柏崎小学校の学区に変更すべきである。</p> <p>□柏崎小学校が移転した後も、本来は八戸小学区である窪町・十八日町・第五内丸は「距 離的理由」で引き続き学区外通学を許可すべきか。 ※窪町・十八日町・第五内丸は「距離的理由」により八戸小学校から柏崎小学校への学 区外通学が認められているが、移転先の柏崎小学校へは距離的に遠くなる。 ⇒ 例) 柏崎小学校が移転する平成 23 年 8 月には、窪町・十八日町・第五内丸町内を 学区外通学許可基準の「距離的理由」から解除すべきである。</p> <p>□「隣接する小中野中学校地区、江陽中学校地区も含めて学区の検討も必要」とあるが、 もう少し具体性があるとわかりやすいのではないか。</p>

17. 第二中学校地区に関する審議のまとめ【おさらい】
(第二中、八戸小、城下小)

1. これまでのまとめ

【審議終了日】	平成 22 年 6 月 24 日 (木) [第 13 回検討委員会]
【1. 適正配置の方向性】	・第二中学校地区内の第二中学校、八戸小学校、城下小学校は現状維持とする。
【2. 上記 1 に係る指摘事項】	
【3. その他指摘事項】	
【4. 現時点での提言区分】(複数選択可)	◇第二中学校【 ① 】 [] ◇八戸小学校【 ① 】 [] ◇城下小学校【 ① 】 [] ①変更なし ②学区外基準変更 ③通学区域変更 ④移転・新築 ⑤学校統合 ⑥その他

2. おさらいのポイント

<p>□柏崎小学校が移転した後も、窪町・十八日町・第五内丸を「距離的理由」で引き続き柏崎小学校への学区外通学を許可すべきか。</p> <p>※窪町・十八日町・第五内丸は「距離的理由」により八戸小学校から柏崎小学校への学区外通学が認められているが、移転先の柏崎小学校へは距離的に遠くなる。</p> <p>⇒ 例) 柏崎小学校が移転する平成 23 年 8 月には、窪町・十八日町・第五内丸町内を学区外通学許可基準の「距離的理由」から解除すべきである。</p>

20. 根城中学校地区に関する審議のまとめ【おさらい】
(根城中、根城小、江南小、田面木小)

1. これまでのまとめ

【審議終了日】	平成 22 年 6 月 24 日 (木) [第 13 回検討委員会]
【1. 適正配置の方向性】	・根城中学校地区内の根城中学校、根城小学校、江南小学校、田面木小学校は、現時点では現状維持とする。
【2. 上記 1 に係る指摘事項】	・将来的には、根城小学校を建て替えるときに江南小学校との統合も含めて検討すべきである。
【3. その他指摘事項】	
【4. 現時点での提言区分】(複数選択可)	
◇根城中学校【 ① 】 []
◇根城小学校【 ① 】 []
◇江南小学校【 ① 】 []
◇田面木小学校【 ① 】 []
①変更なし ②学区外基準変更 ③通学区域変更 ④移転・新築 ⑤学校統合 ⑥その他	

2. おさらいのポイント

<p><input type="checkbox"/> 「現時点では現状維持」の現時点について、短期・中期・長期で考えた場合にどれに該当するか。将来的にはどうあるべきかを盛り込む必要はないか。 ⇒ 例) 将来、根城小学校を建て替えるときは、江南小学校を統合する。【長期的】</p> <p><input type="checkbox"/> 江南小学区では他校への学区外通学者が多く、地区児童の半分も入学していない。</p> <p><input type="checkbox"/> 江南小学校では、700m の距離にある同じ根城中学校区の根城小学校との規模の差が大きく、中学校進学時のギャップが大きい。この点については現状のままでよいか。</p>
--

22. 明治中学校地区に関する審議のまとめ【おさらい】
(明治中、明治小)

1. これまでのまとめ

【審議終了日】 平成 22 年 8 月 10 日 (火) [第 15 回検討委員会]
【1. 適正配置の方向性】 ・ 明治中学校地区内の明治中学校、明治小学校は現状維持とする。
【2. 上記 1 に係る指摘事項】
【3. その他指摘事項】
【4. 現時点での提言区分】(複数選択可) ◇明治中学校【 ① 】 [] ◇明治小学校【 ① 】 [] ①変更なし ②学区外基準変更 ③通学区域変更 ④移転・新築 ⑤学校統合 ⑥その他

2. おさらいのポイント

<p>□小規模の 1 小学校 1 中学校地区については、部活動、団体活動などの面で不安を持つ保護者もいる。現状維持とした背景にある地理的条件等、その理由を明記するべきではないか。</p> <p>⇒ 例) 学校の規模としては難しい課題を抱えることになるが、地理的な面を考慮すると現状維持とする。</p>
--

